

校園長室から



学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和6年10月10日 第25号

ラストラン

運動会の練習が進んでいます。体育館やグランドからにぎやかな音楽とともに頑張る子どもたちの熱気があふれています。いよいよ来週は、運動会ウィーク。いいものを作り上げてほしいものです。ところで、運動会ではリレーも行います。いくつかのクラスには、バトンパスの秘儀を伝授しました。

こう見えても20年近く陸上部の監督をしていました。ある年のことです。100mが強い女子選手が4人そろいました。一人は泉南地区でも優勝するほどで、春先から期待満載でした。4×100mRでいいところまで行くのではと夢想していたのです。ところが近くの中学校のリレーチームは、もっとすごかったのです。結果、岸和田市の大会では2位。泉南大会でも2位。大阪府ではむこうが3位で近畿大会へ。こちらは4位で残念な結果。

秋がはじまるころ、いよいよそのリレーチームにもラストランがやってきました。当然ライバルチームもラストラン。悔しさを晴らすラストチャンス。

1走の女子キャプテンがやって来て言うのです。「明日の試合の朝、中央公園でバトンの練習してもいいですか」と。普通試合の朝は、そんなことしません。普段でしたら「ダメ」と即答するのですが、ラストランの朝なので黙って付き合うことに。何度も何度もバトンパスをギリギリでつないでなんとか時間を短縮しようと練習していました。

そして本番。最高のスタートダッシュからはじまり2走の選手の激走。ギリギリすれすれのバトンパスの連発。アンカーがゴール前を、泣きながら「勝った」と通り抜けたときは、私も滂沱の涙。

『よ-やったなあ』なんて、数年前すっかり母になった選手たちと思い出に浸りながら、またまた泣けてくるのでした。